

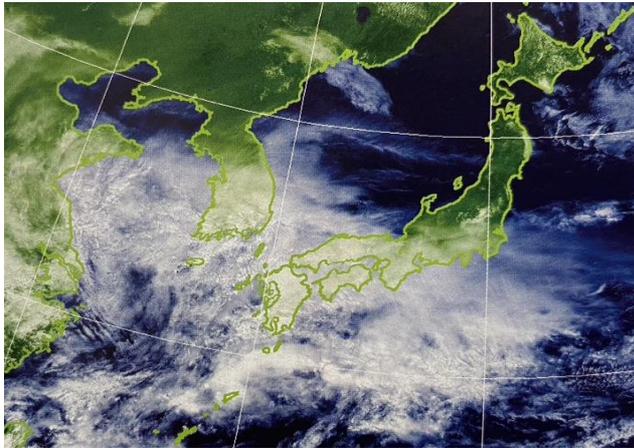
1 天気はどのように変わっていくのか調べる計画をたてよう。教科書を読みながら、() に当てはまる言葉を書きましょう。

空を観察すれば、() の様子である程度の天気を予想することができます。しかし、明日の天気や今、雨が降っている場所など、くわしいことは分かりません。



気象情報を集めて、そこから天気の変化について調べよう！！

☆気象情報は、() や ()、() などから手に入ることができる。

気象衛星の ()	アメダスの ()
	
<ul style="list-style-type: none"> • () があることが分かる。 • 白いところが () を表している。 	<ul style="list-style-type: none"> • () が降っていることが分かる。 • () を色分けで示している。 () が一番強い。



新聞やテレビで実際に見てみよう。気象庁や日本気象協会のサイトでもいいね。



気象庁



日本気象協会

2 教科書 P14・15 の資料から、4月 26 日～29 日の4つの都市の天気の変化を読み取りましょう。() に当てはまる言葉を書きましょう。

結果 資料から読み取れること

- 26日は、福岡はくもり、その他は晴れ。
- 27日は、福岡は()、その他は()
- 28日は、すべて()
- 29日は、()

考察 結果から考えたこと

- 雲の動きに合わせて、() の範囲も動いている。
- 雲の動きを見ると() から() へ動いている。
- 福岡に雨を降らせていた雲が東へ移動して京都や名古屋、東京に雨を降らせている。
- 雨の範囲も() から() へ動いている。
- 天気は() から() へ変わっている。

3 「天気はどのように変わっていく」と言えますか。1 2を振り返りながら、自分の言葉で結論を書いてみましょう。

困ったら、
P16 を写して
もよいです。



1 日本付近の天気の変化は、季節によって特ちょうがちがいます。もうすぐ、梅雨をむかえます。西から東にかけて雲が広がり、くもりや雨の日が続きます。夏や秋の特ちょうは何でしょうか。教科書 P 17 を読んでおきましょう。

2 教科書 P 18 のように、雲や空の様子、生き物の様子などから天気の変化を予測することを「観天望気（かんてんぼうき）」といいます。では、次のような時の天気はどうなるのでしょうか。予想して○をつけましょう。



- ①ねこが顔を洗うと（ 晴れ くもり 雨 ）
- ②ツバメが低く飛ぶと（ 晴れ くもり 雨 ）
- ③朝、遠くの山がくっきり見えれば、（ 晴れ くもり 雨 ）
- ④クモが巣をつくれれば（ 晴れ くもり 雨 ）
- ⑤遠くの音がよく聞こえれば（ 晴れ くもり 雨 ）
- ⑥夕方、赤トンボがたくさん飛べば明日は（ 晴れ くもり 雨 ）
- ⑦うろこ雲がでた次の日は（ 晴れ くもり 雨 ）
- ⑧朝に虹が見えると（ 晴れ くもり 雨 ）
- ⑨夕焼けの次の日は（ 晴れ くもり 雨 ）
- ⑩へびが木にのぼると（ 晴れ くもり 雨 ）



予想できたかな？まだまだ言い伝えはあるので、興味がある人は調べてみてください。また、教科書 19~21 ページも読んでおいてください。

3 教科書P 22 **確かめよう** に取り組み、答えを書きましょう。

1 天気の変化は_____

2 天気は_____

3 ア ()

イ 雲画像から調べられること () 雨量情報から調べられること ()

4 教科書P 23 **学んだことを生かそう** に取り組み、答えを書きましょう。

1 ア

	福 岡	大 阪	東 京
5月3日			
5月4日			

イ ()



2 6月1日の天気を自分で情報を集めて予想してみよう。

天気は_____。

そう予想した理由は、